

照代さん追悼号



照代さん、天国からほっとスペース八王子を見守りください

**SSKS**

「ほっとスペース八王子」ニュース

**ほっと**

2007年11月10日発行

119号

定価 100円

編集人 堀部正  
電話 A X  
F A X  
E-Mail: info@hottospace.jp  
郵便振替

八王子市八幡町一三二番くしまやビル二階  
「ほっとスペース八王子」(代表 堀部正)  
〇四二一六二八一三一九  
〇四二一六二〇一七七八  
http://homepage2.nifty.com/hotspace/  
CXB01672@nifty.ne.jp  
〇〇一八〇〇七二四六「ほっとスペース八王子」

目次

特集 照代さん追悼!	1頁
早すぎるよ。あまりに早すぎる…堀部正	3頁
小林照代さんを偲ぶ…植松恵樹	4頁
ほっとの仲間からのお別れの言葉	4頁～9頁
照代さん遺稿集	9頁～14頁
特集 2007年度参議院選挙と障害者自立支援法	
2007年度参議院選挙と私達の立場	14頁
障害者自立支援法	15頁
参議院選挙と自立支援法 / 参議院選挙で示された民意 / 参議院選挙について思うこと / 参議院選挙での決断 / 参議院選挙結果について / 参議院選挙候補者にアンケートを求めて / 参議院選挙 - 民主党が勝った / 参議院選挙 - 与党大敗は当然 / 自民惨敗	15頁～19頁
My Boom 私がはまっていること	20頁
夏キャンプの思い出	21頁～22頁
ほっと談話室～こんなこと・あんなこと～	
俳句 / 個別推奨について / 終戦記念日によせて / 団地清掃に参加して / 就労(アルバイト)体験記 / 設立十周年を過ぎて / 「ほっとスペース八王子」の現状と課題 / 障害者自立支援法について思うこと	22頁～25頁
特集 小金井市自閉症児転落事故損害賠償請求裁判、大詰めへ	
事件の概要	25頁～26頁
裁判の経過	26頁～28頁
編集後記	28頁

～照代さんは、ほとどの仲間の中で生き続けていく～

**謹んで哀悼の意を表します**



★照代さん追悼★

早過ぎるよ。あまりに早過ぎる…

堀部 正

早過ぎるよ。あまりに早過ぎる。なんでこんなに早く逝ってしまったの。

「ほっとスペース八王子」に通い始めたのが二〇〇一年九月。しかし、入会しただけでほとんど通わなかった。明るくなるの一月に具合が悪くなって、入院して二カ月後にほちほちと「ほっとスペース八王子」に通い始めたんだよね。そして、その年の二〇〇二年五月の日帰り温泉旅行で当時の女性職員、女性会員と浴室で裸の付き合いをした

から、「ほっとスペース八王子」に通うことの楽しさ、仲間意識が芽生えたみたいだったね。それまでは自分が「精神病患者」であることを認めたくなかった。入院していた精神病院や通った「ほっとスペース八王子」にいた「精神病患者」の仲間を自分と同じ苦しみを持つ仲間として認めたくなかったんだよね。

でも、その温泉日帰りの旅行に参加して以来、変わった。本来持っていた性格なのかどうか知らないけど、天真爛漫、天衣無縫を絵に描いたような

性格が「ほっとスペース八王子」にいる間満開し始めたんだよね。あなたがそこに居る間は「ほっとスペース八王子」は本当に「ほっと」出来る空間でした。あなたがそこに居るだけで空気が和み、笑いが絶えませんでした。時々、あなたは噂話をしてその槍玉になった人を悲しめることがあったけど、それも悪気があってのことではなく罪の意識も無い行為なので、怒る気もしなくなるというものでした。通い始めた頃はお嬢ちゃんを育てたという話、自分の病気になった経緯を何度も何

は「ほっとスペース八王子」のすべての会員のお手本のような人でした。

度も何十回もそれだけが話す話題でしたが、いろんな仲間と付き合い始めて、噂話が話題になり始め、もっぱら噂話するのが好きになったのですよね。

お嬢さんがそろそろ結婚するという話でエシクトーンで結婚行進曲を弾けるようにならなきゃと一旦は練習しましたが、講師の先生が厳し過ぎてとうとうついていけなくなったこともありました。二〇〇二年一月の入院がよほど怖かったんでしょう。薬の量が信じられないほど多く、次第に頭がもうろうとなり、いつも「ほっとスペース八王子」に来て眠ってばかりの日が続きました。

度も何十回もそれだけが話す話題でしたが、いろんな仲間と付き合い始めて、噂話が話題になり始め、もっぱら噂話をするのが好きになったのですよね。

何月何日何曜日であるかも分からない状態になっていました。

そのことで自信がなくなってますます天真爛漫、天衣無縫が満開し始めましたね。何事にもくよくよせず、あくる日には忘れてしまうあなたの在り方

それでも、薬の量は減らず、「ほっとスペース八王子」にいる間も意識がもうろうとなってお風のパンをのどに詰まらせて、大変な目に遭った事も何度もありました。そして、とうとう八月二一日未意識がもうろうとしていた時にパンをのどに詰まらせて亡くなったという話を聞いて、遂に来たかと思いました。精神科医のひどさは余りあるものがありますが、あなたも被害者の一人に

照代さん、千の風にならう、あの大きな空を飛びわたらう、いつの日か。

主治医に話した方が良くなって言っても主治医も話を聞いてくれない、薬の量は減ることは無かった。終いには今日が何年の

～照代さんは、ほっとの仲間の中で生き続けていく～

# 謹んで哀悼の意を表します

なってしまうでしたね。

あなたがいつも話していたお嬢さんの花嫁姿、お孫さんの姿を結局見ぬままに逝ってしまいました。あなたの分まで「ほっとスペース八王子」に残された仲間は生き抜きます。悪逆非道な精神科医の悪行を許さず、みんなで生き抜こうと決意しました。薬漬けにならないようにしよう。眠剤を飲んだ後は物を口にしない、タバコは吸わない、お風呂に入らないと確認しました。

あなたも最後まで「障害者自立支援法」撤廃を訴え続けていましたが、必ずや撤廃させるためにあなたの方まで頑張ってください。安らかに眠りください。

小林照代さん

を思ひ 植松恵樹

天衣無縫の人 一言で

あなたを言い表せば、こうだと思います。私が夕方ほっとに来るとき、帰るあなたとMさんとよく「モス」で会いました。そこで少し休んでコーヒを飲んだり、話したりするのを楽しみにしていました。とりとめのない話でしたが。

一番残念なことは、全体ミーティングでみんなが決めたことを守らなかったとして、あなたが3年間(1)の謹慎にされたというのを聞いたことです。実際は1日1プログラム参加となったようでしたが、私はルール違反だとして、運営委員会にはかり、その処分を撤回することにしました。数日後、私はあなたを見て「照代さん、よかったね」と声をかけてのですが、どうもよく理解されなかつたようです。先の処分と共に、あなたの電話からほっとへ電話できないようにした、とも聞きました。よくこんなことを考えると、私は憤りを覚えました。照代さんが、ほっとから帰宅後もよくほっとに電話することを考えてのようです。

それからしばらくして、ほっとニュースを読みました。あなたは、「今回は民主党大河原さんに入れた」と書いていました。ほっとが障害者自立支援法に反対していることを理解してのことだと私は信じます。いや、別に誰に入れてもよかったのです。ほっとは大衆団体であり、職員、会員の思想、信条は自由なのです。その上で、ほっとが障害者自立支援法に反対し、反戦、平和を目指す運動や労働運動をやることはなんら矛盾しません。現にバイトで働く会員にとつて、多摩一般労働組

合(職員が全員加入している)は大きな力になっていきます。2名の会員も組合員です。職員を「組織者」として位置づけるなら、会員とどうかわって人間

関係をつくるのか、信頼関係をつくるのか、こそが問われています。ほっとの方針や運動をどう理解してもらうのかは、会員ではなく職員にこそ問われる能力なのです。ほっとの人気者であったあなたが若くして亡くなったことは残念です。

(この内容について公にしなくても考える人がいるかもしれませんが、何を反省すべきかを考える意味もこめて、あえて書くことにしました。)

もっと、お話をしたかったのに

K. S

突然の訃報に接し残念でなりません。4日程前にお会いしたのが最後でした。



照代さんの思い出 - 学習会に参加して -

～照代さんは、ほっとの仲間の中で生き続けていく～

# 謹んで哀悼の意を表します

『今日は……病院に行ってきた。』

『いらいしいい。』

『ほら、血を3本も探られて……。』

「健康診断ですか?。」

『そつなの。でもどこも悪くないって先生に云われました!。』

「そりゃ良かったですね。」

『ほら、もうピンピンしているよ~~~~。』

私が照代さんと接しはじめてまだ半年ですが、今までに見た事もない、こぶしを握って両手を上に上げた素振り、お医者さんにとっても悪くないと云われたのが余程嬉しかったのでしよう。でも、その楽しい会話が最後だったとは。

今回の参議院選挙では、はっきりと安倍政権の不信を国民が突きつけた格好に成りました。

我が「ほっとスペース

八王子」は、政治団体では有りません。しかし、障がい者の仲間として、より良い政策を行う政治家、とくに、障害者自立支援法、を破壊または大改正を掲げている政治家を選びたいと、学習会を何度も開きました。

照代さんは、ご家族そしてご本人もある宗教を



照代さんの思い出 - ピラ撒き行動に参加して -

信じ、その支持政党を応援している様でした。これが今回の学習会でも皆と争いに成り照代さんは孤立してしまふ事もしばしばでした。そんな折に、

『ねえ、Sさん、誰に投票してもいいんでしよう。個人の問題なのじゃない?。』

『そつですよ。照代さんは、何でも話してしまふでしよう。いい所なんだけれど、誰に投票する、

何党に入れるという選挙のことはあまり話さない方がいいよ。皆んなにつつつかれるから。』

『そつか。いわなきやいいんだね。』

「最後は誰に入れようがいいと私は思うよ。ただね、この事だけは頭に入れておかなくては駄目だよ。」

「それはね、照代さんも手帳を持っている障がい者の一員でしよう。多くの障がい者達が、自立支援法、で苦しめられている。同じ障がい者の仲間として、この悪い法律を反対しつづけなければならぬでしよう。……!」

『そつよ、私もピラ撒きをやっているもの……。』

宗教の自由は宗教の自由。そして、自らも含め障がい者の立場を、よく理解していたのでしよう。選挙後の、「機関紙ほっとニュース100号」(これが照代さんの最後の原稿になってしまいました。)では、自分の意志をはっきりさせる為なのでしよう。もう云わないと私には云っていたのに、誰に投票したかを書かれています。

色々、もつとお話をしたかったのに残念で成りません。御冥福をお祈りするばかりです。

最後に、残された娘さんに、お母さんの気持ちの一部をお伝えしておきますよ。

『あの子がいなければ私は生きていけない。』

と、よく話しておられました。しかし、その次には、『私があるばかりに結婚も出来ないでかわいそ

～照代さんは、ほっとの仲間の中で生き続けていく～

# 謹んで哀悼の意を表します

とも話され、複雑な心境を持っておられました。

どうか、しばらくはお寂しいでしょうが、お母さんの供養の為に、よいよい結婚をなされ、幸せな人生を送られますようお願いしてお祈りいたします。

まさ子さんの思い出

あーちゃん

入会してから、まさ子さんにはいつも話しかけていただき、明るいまさ子さんのオーラに近づけることができました。思い出はたくさんあります。いつも姉妹!と呼んでもらい友達だね!とまさ子さんに言ってもらいました。まさ子さんの隣にいつも座るのが楽しかったです。モスバーガーで、お茶をしたこと、そのときおなかの大きなワカメちゃんとも偶然に出会い、3人でモスで、おしゃ

べりもしました。まさ子さんが謹慎中のとき、一緒にピーターパンを見に行つて隣同士だったし、まさ子さんが海賊のフック船長の大きな縫いぐるみ(中に人が入っている)を大そう怖がっていたのもカワイイなあと思いました。プールのときは一緒に行くこと約束してもらい、まさ子さんと温水プールに入れたのも楽しい思い出です。まさ



照代さんの思い出 - ボーリング大会 -

子さんと夏の思い出もできてよかったです。キャンプにも誘いましたが、「今年は娘と一緒に、佐渡とか色々なところに行ってきたからキャンプには行かないわよ。」と言われました。残念でした。亡くなる前の日には、まさ子さんが、カワイイ、ブラウス(花柄)を着てきて、大好評でした。

その日は、まさ子さんを挟んで、ディクシーさんとイーヨのマネをして、まさ子さんにじゃれあつたり、軽く腕にはちばちパンチをしたりして遊んでもらいました。まさ子さんには少女のようにな、「やめなさいよ」と私たちとじゃれあつてくれました。まさかそれが最後になるとは思っても見なかったです。とても悲しいし、残念です。今頃まさ子さんは、天国で笑いあつたり皆と楽しんでるのではないのでしょうか。

まさ子さんの思い出

みーちゃん

私とまさ子さんの出会いは、私たち姉妹が、ほっとスペースに入り少したつてからのことでした。偶然、席が隣同士になって話をしました。最初は、私が用事で帰ってしまったので、それで話は終わってしまいました。ほっとに来るたびにだんだんまさ子さんと仲良くなって、まさ子さんからM姉妹、M姉妹と親しく呼んでくれるようになりました。私も、まさこさんに親しみを感じていたので、よく色々な冗談を言い合つたのを思い出します。まさ子さんはほっとのムードメーカーだったと思います。お茶目で、かわいところがあるところが、私は大好きでした。

照代さん追悼

渡辺広海

照代さんが亡くなったと知ったのは、料理教室の朝のことでした。料理教室に照代さんがこな

～照代さんは、ほっとの仲間の中で生き続けていく～

# 謹んで哀悼の意を表します

いので、Mさんが照代さんの家に電話をしたら分かったのです。本当に驚きました。まさかあんなに元気だった照代さんが亡くなるなんて。聞けば、睡眠薬を飲んで、夜起きてパンを食べて、喉に詰まらせ、窒息死したとのことです。さぞ苦しかったでしょう。そして、夜中だったので、家族の発見も遅くなり、手の施し様がないまま亡くなってしまったようです。本当に残念で悲しいです。いつも明るくて、明るくて、楽しい話をいっぱいしてくれた照代さん。天国で安らかに眠りください。御通夜には本当に大勢の方がいらしていました。生前、照代さんがいかにたくさんの人に好かれていたか分かったと思います。最後のお別れもさせていただきました。涙が止まりませんでした。

た。本当に悲しくて悔しいです。二度とこんな思いはしたくありません。

照代さんの思い出 山口咲子

照代さんは太陽のような人だった。いつもどんなときも、笑っていた。特に電話が好きで時々グ



照代さんの思い出 - スポーツの会に参加して -

子をごぼしていたり、私の悩み事を聞いてもらったりしていました。あまりにも突然になくなったので、今も信じられません。どうか天国でやすらかに眠りください。

小林照代さんを偲んで 武田春海

去る、8月21日、ほっとのメンバーだった小林照代さんが亡くなりました。とても残念なことでした。死因はパンを喉に詰まらせたの窒息でした。まだ54歳という若さでした。彼女はとても暖かな人で、誰からも好かれていました。そんな彼女がいなくなるということは信じられません。通夜のときに拝顔した死化粧はとても美しくもっと長く生きて欲しかったです。彼女とはよく近くのお店でコーヒーでも飲みながらほっとの事とか新聞に載っている事件とか色々話して、彼女も大らかなで、よく笑っていました。彼女にはもっともっと長生きしてもらいたかったです。とても残念です。私もいつ死ぬかも知れませんが、もしそんなことになればあの世でまた飲みながらも色々なことを話せるでしょう。天国にいる彼女はきっと私たちを暖かく見守ってくれていると思います。

照代さんを偲んで ディクシー

照代さんとはそんなに会わなくて、でもたまに会うと、いつもニコニコして明るい人だと思っていた。照代さんが亡くなる前にぶいさんに出てくるイーヨのまねをしてからかってしまいました。でも照代さんは笑って、あーちゃんにも微笑みかけてとても楽しかった。私は6月から入ったので、照代さんとはあまり交流がなかった

～照代さんは、ほっとの仲間の中で生き続けていく～

# 謹んで哀悼の意を表します

のでもっとたくさん話したり遊んだりできたら良かったと思います。照代さん、安らかに眠りください。

## 照代さんの思い出

MIKI

照代さんが急逝する前の週、珍しく彼女が「水泳教室」に参加していた時の事を、私は思い出して楽しそうにしていた照代さんの事を見ていただけに、なおさらに悲しさが増してきます。故人のことですからいまさらですが、彼女は問題を起こしてはみんなに知られていたことが多く、「謹慎処分」になったこともありました。でも照代さんは純真なところがあり子供のようで、皆も本心では好ましく思っていたと思います。おしゃべりが好きで私もよく世間話をしては笑ったりして楽

しく過ごしたことも思い出します。通夜の席で私は、彼女の娘さんの顔をうつらうつらと見ていられたかったです。多勢の方が見えられていて、「照代さん、皆が貴女のことを惜しんでくれています。幸せが生きているときにもっとあればよかったです



照代さんの思い出 - 日帰り旅行に参加して -

すね」と考えました。ほっとスペースのメンバーとして、8年近く皆と共に活動してきた照代さんがいないのはとても淋しいです。今のメンバーの繋がりを私は大事にしたい。照代さんの笑顔はきっと皆の記憶にずっと残ると私は思います。謹んで照代さんのご冥福をお祈りします。

あんなに元気だったのに… T・Y

「照代さんが亡くなった!」ということを知り、「ほっと」のプログラム中に聞いてびっくり仰天してしまいました。昨日まであんなに元気で、全体ミーティングの雑談でも、「私はほっとと一緒に生きていく。そして80まで生きて見せるわ」と皆の前で公言していたのに…。

照代さんはほっとの中で、異色の存在でした。時々、いろんな問題発言をして、会員から総スカンを食らうこともあったし、度が過ぎて、謹慎処分をつけ、ほっとにこれなくなったこともしばしばでした。でも、ほんとうに憎めない人でした。照代さんにどんなことを言われようかそのときはムカツときても、そんなことは一日たてば忘れてしまい、いなければ寂しく、いればなんとなく場の雰囲気や和らげる、そんな癒し系の人でした。発言が「天然ボケ」的で、ぎすぎすした人間関係の潤滑油になるような人、そういう人柄が照代さんの人柄だったと思います。

僕が照代さんと知り合いになってからまだ半年でした。でも、自立支援法が施行されて、今後の「ほっとスペース八王子」がどうなるかわからない、ひょっとするとなくなるかもしれない、そんな状況の中でも、「私はほっととともに生きていく。おにいさんに、ほっととともに生きていけと言われたわ」と言い続け、自立支援法撤廃のピラ撒き行動にも参加していた照代さんのことが懐か



しく慰ばれます。通夜・告別式には大勢のほっとの仲間がかけつけて、照代さんと最後のお別れをしました。照代さん、天国で安らかにお過ごしください。そして今後のほっととほっとに集う仲間たちを暖かく見守りください。

雅子さんへ

ケンタ

照代さんが亡くなり一ヶ月が経ちました。彼女が亡くなったとの訃報を受けたとき「まさか」と思い全く現実味が持てませんでした。そして、いつも通りの「おはよう、〇〇さん。いい男」とほっとに現れるのではないかと想いまま

した。残念ながらお通夜に行くことはできなかったけれど、仲間の話を聞く事でようやく亡くなった事が実感できました。ほっとスペースでの彼女はいつも笑顔とユーモアで皆の心を明るく満たしてくれました。時たま僕は理不尽な絡み方をされて心底腹を立てる事もありましたが気が付くと又彼女を交えて皆で談笑していました。そしていつもの様に冗談の言い合いをしていると、急に人生の真理を突いた様なことを言い出し諭されたりもしました。

又、いつも娘さんの心配やお兄さんの自慢ばかりしているのだからかって一度だけ言い過ぎて妻を巻き込んだの大騒ぎにもなりました。

照代さん。たくさん楽しい思い出をありがとうございました。さようなら。「冥福をお祈りいたします。」

## ★照代さん遺稿集★

### ○自己紹介

私は九月に作業所に入会しましたが、ぜんぜんなれませんでした。一月に入院して五月ごろまではいくのがいやでした。でもいっしょに入った人がひっぱってくれました。やっと、女性の方や男性にも少しづつなれて車でレクに行ってきました。もう少しづつでもみんなの力自分の力でつづ

## 照代さん遺稿集

けていきます。自分はしゃべるのが、へたで、男性がよくしゃべってくれます。今回のレクで、病院の患者にはみなさんみえません。たのしくなるようにがんばりたいと思います。

今回ほっとスペース八王子の春レクで行ったのは、昔兄さんと一緒に登ったことのある滝で写真もとったところだった。「ほっとスペース八王子」に入会して初めてのレクレーションで、不安な私は、ただ私は皆について行くだけでした。女性三人、男性八人くらいで、初めてのことほっかりでした。でも、優しい楼井さんともう一人の友人とお風呂に入って、少し安心しました。食事も美味

しく、ワインを飲んでいたり、寝ている人もいました。帰りは車に少し酔ってしまいました。何事もなく、終わり、まあまあ楽しい一日でした。

(2002年6月4日発行 第70号)

### ○がんばるよ

あけましておめでとございます。

もう「ほっとスペース八王子」に入り二年くらいになりました。自分は男性と若い頃はつきあえませんでした。今95%なおります。お茶を飲んだり十人くらいで、ごはんを食べたり毎日毎日たのしいです。職員の方、堀部さん、「ほっとスペース」の方々に感謝をしております。こんなこと

ほっかり書いていますけど、ずっとよろしくお願ひいたします。令年もよろしく。今年も頑張るよ！

(2003年12月29日発行第89号)

### ○年末年始をどう過ごしたか

私は病気になった理由は家庭不和でした。両親がなくなると10年たち35年間は病気を隠し、長男夫婦は35年間も私を黙って見守ってくれました。今年も長男夫婦のところへ新年会にお呼ばれをして娘に着物を頂きました。新年会は一人千円の会費でしたが、お姉さんが出さないでいいといわれて無料でした。よかったです。くりおこわ、刺身、くり金団、こぶをこ馳走してくれました。娘は働い

ているのにお年玉を従兄弟からももらいました。楽しいお正月を過ごしました。私の兄弟、お嫁さん、甥っ子、姪っ子も私のことを大切にしてくれれます。今は娘が結婚したら、ホットに厄介になります。いろいろな人間関係はありますが入院しないように娘に厄介に、ならないように頑張ります。よろしく！よろしく！(2004年2月3日発行第90号)

### ○5kgやせたい

私は「ほっとスペース八王子」に入ってから三年半経ちました。でも最初の半年は通うのが嫌でした。でも少しずつ努力していくうち楽しくなってきました。いまは本当に堀部さん、職員、「ほっとスペース八王子」の方々の中に入って楽しく過ごしています。今年こそは水泳をして5kg痩せようと思っています。(2005年1月7日発行96号-97号各併写)

### ○恋に夢中

私は結婚し子供を産み子育てをしてほっとの男性、女性と接しての楽しい日々でした。若い頃はぜんぜんデートなんか出来ませんでした。離婚をして二年経ち、すてきな人を三人好きになりました。けっこうアタックしたら男性も受け入れてくれました。四四才の時、すてきな人に恋してしまいました。その人のそばにいるときめいてし

まい、まぶしくて、見られませんでした。(懐かしい思い出です)これからもステキなひととデートをしたいな！(2005年2月1日発行第98号)

### ○端午まつり



照代さんの思い出-ほっとの仲間と語らう-

ほっとに十一時に集合した。長房の端午祭りに歩いて行った。二時頃ついた。私は焼きそばを二つ買った。一つを娘のお土産にした。焼きそばとフランクフルトを食べた。市議会議員の小林のぶをさんに、会場であった。家に帰ったら、娘は部屋

でテレビを見てポテトチップを食べていた。お土産の焼きそばを夕御飯としていた。堀部さんが娘と娘の彼氏にあったと言った。堀部さんは孫が出来たら遊びにおいでと言ってくれた。嬉しかった。楽しい一日だった。(2005年5月1日発行第102号)

### ○食べに食べて3kg太っちゃった

五月十四日旅行に行きました。間違えて京王八王子の駅に行ってしまった。京王八王子の高速バスターミナルの所に待ち合わせたと気がついた。Uさんが歩いてきたのを見た。ほっとした。お昼はバイキングを食べて3kg太った。S・Hさんが歌を歌った。つじがきれいに咲いていて、写真をいっぱい撮ってくれた。おみやげを娘と娘のかれしに買って来た。楽しかった。娘には、杏仁豆腐、彼氏にはさつまあげを買ってきた。また長兄にTELした。良かったねと言ってくれた。(2005年5月1日発行第102号)

### ○土日の利用に「本郷町」「アクセス」

五月二十日金曜日に十人位でオープンスペース本郷町に行き、四五〇円でさしみといろいろ食べました。「ほっとスペース八王子」が休みの土日は暇なので、いわゆる「本郷町」や「アクセス」に行っている。「本郷町」「アクセス」それぞれ良いが、私には「ほっとスペース八王子」が良いと思った。旅行もあるし、職員も良いと思う。堀部さん

はつるさいが、それが刺激となって自分のあり方など直してくれる。「本郷町」では金曜日食事を、テレビを見るだけです。感想を書けと言われたが、あまり覚えていない。(2005年7月7日発行第103号)

### ○他人の心を読めずに悩んでいる

「ほっとスペース八王子」に入ってから八月で三年経ちました。五〇代の人のはちょっとは読める。二〇代、三〇代、四〇代の人のが読めません。そのことで最近悩んでいます。堀部さんが「テオ上映会をやったり、旅行に行ったり、いろいろとどこかに連れて行ってくれたりしてくれる。作業している時、いろいろ差し入れしてくれる。二年間は私は明るかったが、最近悩み始めた。他人の心を傷つけてしまう。最近では、習字にこっている。明るく、仲良く、元気で、生き生きしている。「ほっとスペース八王子」でいたい。私の心は底辺ではいつも病気がたたかっています。穴ちゃんを傷つけてしまう。反省していました。長兄のお嫁さんに言わせると「人の傷つくことをズバツと言ってしまう」らしい。それが私の性格だと思っていた。いろいろ「ほっとスペース八王子」の人たちに迷惑をかけていた。少しづつ直していきたいと思った。(2005年7月7日発行第103号)

× × × × × × × ×

### ○「障害者」家族に圧倒された

「ほっとスペース八王子」に入り三年経ちました。先日、日比谷公園に行き、全国「精神障害者」が集まりました。「障害者自立支援法」に家族が



照代さんの思い出 - 自立支援法反対の学習会に参加して

一体となり反対出来るのは素晴らしい家族だと思えました。妻が赤ちゃんをだっこしていた。「障害者」本人がマイクで「障害者自立支援法」に反対していた。夫は妻と赤ちゃんと家族を守っていくと言っていた。「身体障害者」が壇上にあがり発言してみんなに訴えているのはすばらしいと

思った。素晴らしい家族だった。妻が自分なら離婚していた。妻は素晴らしい女性だった。私もはげまされた。私はその「障害者」を見て、五体満足であれば幸せだと思いましたが、堀部さんに後で言われて気がつきました。私が「精神障害者」であることを誰かに「可哀相だね」と言われたら頭にくる。「あなたからそんなこと言われたくないよ」って怒ります。「障害者」に可哀相だねと言うのはそういうことだと気がつきました。いまは両親も亡くなり、こんな自分だけで育ててくれて一〇年本当にありがとと、両親に感謝しております。毎日毎日おいしい料理をつくってくれる村里さんの人生は素晴らしい。私も村里さんのようになり、人々に感謝されるような人生を生きたいです。(2005年8月27日発行第104号)

104

### ○一人でプレゼンやったよ

九月二五日エルシーで「ほっとスペース八王子」十周年パーティがありました。大勢の人が七〇人位集まりました。クラウンさんとワカメちゃんが司会をしていました。大変上手でした。この日は私の長兄が来れなかったのも残念でした。みなさんと半分つづつモノポリのプレゼンする予定でしたが、みなさんが当日欠席したため、全部私がしなくてはいけなくなりました。声が出なかつたけど、頑張った。イベントの中で桃山桃源さんの和太鼓が感動でした。国分寺工クスペリエンスの演奏もすばらしかった。「二次会では「ほっ

とスペース八王子」に場所を移しました。所長にジューズを買ってきてくれと言われ、山口さんと二人で買い物に行きました。疲れたけど、たくさんのごちそうを食べ、みんなでおしゃべりをした。楽しい一日でした。(2005年11月27日発行第105-106号合併号)

### 〇うわさ話はどっにかしてやめたい

食生活の反省としては、昨年は便秘で入院したことです。原因は「ほっとスペース八王子」の夕食会に出ずに、自分が美味しいものばかり、好きなものばかり食べていたことです。野菜をほとんど食べていなかった。今年は夕食会に出て、みんなと一緒に食べるようにします。また、家でも野菜を食べるように心掛けます。他の反省点はまだまだうわさ話をしてしまったことです。人のことをすげすげ言っていました。今年は出来る限りの人の話をよく聞いてみようと思います。うわさではなく、話題を増やしたいと思います。私には話題がないので、うわさ話をしてしまうのは分っていますが、今年は人の気持ちが少ない分れば、何とかなるとは分ります。でも、どうすれば分るかは分りません。少なくとも、うわさ話をされる人の気持ちを分るようになりたい。(2006年1月4日発行第107号)

× × × × × × × ×

### 〇石鹸で運営のお手伝いです

去年は酉年でしたけど、今年は戌年です。毎日忙しい日々を暮らしてきました。忙しいと少々疲労もありました。疲れてくると、娘に助けをもらっていましたけれど、もう一人で生きていかななくてはなりません。作業所の人、団地の人、



照代さんの思い出 - 書の至宝展に参加して

病院の人を大切にして生きていこうと思います。私の友人は、四十五歳という年齢で二人も亡くなりました。友人のお歳暮はいつもせっけんでした。そのせっけんを、ほっとスペースに持っていくのが楽しみでした。堀部さんは面白かったり、厳かっ

たり、私の悪い所をなおしてくれたりします。浜さんは素敵な男性です。井田さんはまじめで、やさしそうです。ほっとスペース八王子にあと三年ぐらい居たいなと思いました。八十歳くらいまで生きることができたら嬉しいです。(2006年2月16日発行第108号)

### 〇アイスクリームが美味しかった

上野公園の近くの東京国立博物館で書を見ました。墨で書かれた美しい書が並んでいました。私は習字をしていた中学校の時を思い出します。博物館では小豆のアイスクリームを食べたことは覚えていました。あとは何も覚えていません。人が多くて、フタローさんとはぐれました。書を見て、井田さんは書道の先生なので、私もしっかりと努力をしなければと思いました。

習字を教えていたかと思いましたが。帰りに、アメ横でお寿司食べ放題に行きました。私は太っているので、ちょっと少な目のレディスセットを食べました。本当は食べ放題にしたかったけど、みんなからいろいろ言われるのも面倒だしね。(2006年3月17日発行第109号)

### 〇心が安らひたい

井田さんがやさしく、美しく書道をおしえてくれます。書道をやると、心がおちつくし、やすらぐ。墨の色が黒く、中学時代にもとる。美しい字を書くことと思う。(2006年3月17日発行第109号)

### ○卒業式の思い出

中学三年の時池袋の方に引っ越してきて、好きな男性に、手紙と、しゃしんをおくって、なきながらわかれた。つらかった。(2006年3月17日発行第109号)

### ○小泉を許さない

私は去年おしゃべりをしていました。もう少し考えて言葉も話すようにします。洗濯も率先してやるような目標でしたが、私はできませんでした。今年はみんなと仲良くし、明るい「ほっとスペース八王子」にします。去年はあまりに忙しすぎて、本を読めませんでした。今年は夕食会に参加します。頭の体操としても、モノホリーをやっています。噂話は絶対にしません。プログラムでは①書道、②モノホリー、③パソコン、④料理を作る、以上です。「日の丸・君が代」押しつけ反対で頑張る。市役所のロビーをたまり場にしてでも活動する。戦争には絶対反対する。私はほっとスペース八王子に入って三年半経ちました。でも来年は二〇〇七年ほっとスペース八王子はなくなってしまうかもしれません。だけど自立支援法が通ってしまえば、お金を払わなければ利用できないかもしれません。今年には自立支援法が通ってしまえば、月に三七、二〇〇円払わなくてはいけない。これからほっとスペース八王子はどうなるんだろう。私も国会の方にどんどん行き、運動をしていきた

い。小泉を許さない。(2006年4月10日発行第110号)

### ○ピラ配りもせず、ケーキも食べ過ぎた総会



照代さんの思い出 - 日比谷公園にて集会に参加

四月八日(土)クリエイトホールで、「ほっとスペース八王子」の定期総会がありました。「ほっとスペース八王子」に十一時に集まり準備して、それから、八王子駅東急前で集まり、それから八王子駅の前で、ピラ配りをみんなはしてたけど、山口さんと私は配るのが嫌で、雨だったし寒くて、東急スクエアの中に入って休んでいました。ピラ

配りが終わった頃、総会での受付係の準備のために山口咲子さんとクーちゃん、先に、クリエイトホールへ行きました。準備が終わって一時三十分が始まりました。代表の挨拶と運営委員長の植松さんの挨拶、それから、来賓の挨拶と、あと家族の会では、茉莉ちゃんのお母さんが挨拶をしました。昨年度の一週間プログラムを発表しました。書道教室と、バス旅行の話をした。ケーキがおいしかった。お風のためのパンは、二つ買った。お腹一杯になったのに、休憩時間のケーキも美味しそうなのを二つ食べたかな。お腹がパンパンになり、具合が悪くなった。皆がピラを配っていたのに、寒くてしょうがなくてしょうがなくて、東急スクエアに入っていました。そのために、みんながやっていたのに私は店の中に、入ったので、悪かったです。帰りも反省会に出ないでささと帰ってしまいそれが反省です。(2006年5月18日発行111号)

### ○間違つて薬を飲み過ぎちゃった

八月七日、八日に秩父へキャンプに行きました。秩父には電車で行った。Dさんやいろいろな人と電車に乗りました。いろいろ話ができ楽しかったです。キャンプ場に書いて、パーベキューの準備をしました。TOSHIIさん、ゆうさん、Dさんの四人で準備しました。にんじん、ピーマン、キャベツを切りました。それらの野菜と肉と焼きそばを鉄板で焼いて食べました。肉は豚肉でと

でも美味しかったです。その後のキャンプファイヤーで、国分寺工務スベリエンスのライブを聞き、花火をして、私が一人で「赤い風船」を歌いました。次の日はあじさい館という大浴場に行きました。私は薬を飲みすぎて体調が悪く、ふらふらしていたのでお風呂に入りませんでした。マッサージ椅子で時間をつぶして、お風呂から上がってきたみんなと食事をしました。天ざるうどんを食べました。美味しかったです。食べた後に、娘と友達によかんのお土産を買いました。あじさい館の反省は、みんなに甘えて、車に乗って帰りたいという、わがままを言ってしまった。夏キャンプはいろんな人がいたので楽しかったです。私は一人で旅行ができないので、みんなでいきたいです。(2006年9月13日発行第113号)

### ○温泉と松茸ご飯が美味しい旅行でした

横谷温泉にみんなで行き、山口さんと二人でお風呂に入りました。露天風呂には寒くて入りませんでした。お湯がどのようにして出るのか分からずに、おばあさんに教えてもらいました。山口咲子さんとお風呂の中で話している声が隣の男風呂まで聞こえるくらいひびきわたり、にぎやかでした。山道は脚が悪いので少々ゆるやかに歩きました。辛かったけど、温泉と松茸ご飯が美味しいでした。楽しい一日でした。(2007年1月3日発行第115号)

### ○今年こそは部屋の掃除をする

今年のほうふは、なるべく一人だちするようになる。そうじきをかけてなるべくそうじをする。ぬれぞうきんを作る。ちいさい袋に入れ毎



照代さんの思い出 - 夏キャンプに参加して -

日する。ためないです。たたみにする。)  
2007年4月10日発行発行116号)

### ○もつと食べたかったお餅

今日は、十一時にほっとスペース八王子にきまし

た。四年たちました。今日は、おもちゃつきをして、おもちを食べて、大変おいしかったです。あんど、だいこんおろし、なつとう、きなこを、食べて、お腹いっぱいになりました。毎年食べ過ぎて救急車で運ばれる会員がいるということで、私も医療センターに入院したこともあったので、もう今日は、もちを食べられなかった。マンゴは、大変おいしいでした。楽しい一日でした。(2007年4月10日発行第116号)

### ◆特集 参議院選挙と自立支援法

#### ●参院選挙と私たちの立場

植松恵樹

#### ◇戦後左翼の終焉―新旧共に―

今次選挙でこのことが明らかになった、と言えば、「何を言っているんだ、そんなものはとっくの昔に終わっている。いまさら何を」と批判されるかもしれない。しかし、私は改めてそう思った。老後の生活不安。不安定労働の拡大、ワーキングプア、生活保護の増大、ローストジエネレーションと言言葉にこめられた団塊格差(世代間格差)



などなど。これらの状況は一般的にいえば社民党や共産党にとってこれ以上の好条件がないという選挙戦だったのでないか。小選挙区という制度上の問題もあるにせよ、結果はご存知の通りだったわけだ。社民・共産は本場の左翼ではないから関係ないという声も耳にするが、それは一般国民の声ではない。社民・共産がこれだけ「お呼びでない」ということは「新左翼」などはそれ以上お呼びでないということだ。そして、「9条ネット」も議席ゼロという結果だった。

### ◇社会的運動と政党一党派

ほっとは、この数年、最大の課題として「障害者自立支援法」に反対する活動をおこなってきた。これは、案段

階からの反対であり、先見の明もあって、この運動により東京、全国の流れも変わったと自負しても良い運動です。民主党も参院へこの法律の改正案を提出しており、可決される見通しです。自力での運動の結果、こういう流れも作る事ができたと思います。これは障害者の生活と生きる権利をにかかわることです。そして、反戦平和の運動、また労働運動との連帯(民主労総との国際連帯)なども進めてきました。つまり大衆団体のほっとの役割は、第一に会員の生活と権利を守ることで

あり、その上に立つて、まじょうな運動に関与し、障害者、労働者が生きやすい世の中を作る活動を地道にやっていくということだと思えます。これは、選挙の結果がどうであれ関係がありません。一票だけ入れてあとはおまかせというわけには行きません。その場合、重要なことは、会員、職員「の思想・信条の自由」を100%尊重した上の運動でなければならぬということなのです。自分が「宗教はアヘンだ」と考えているからといって、信じている人にまでそれを押し付けるように

## 参議院選挙と自立支援法

は、信頼は得られません。またマルクスはそんな単純なことだけを言ってもいません。100%尊重しても、ほっとの運動をおこなっていくことは、何も矛盾するものではありません。かえって、人の心の中にフカズカと入りこむほうが、より大きなマイナスとなります。安心され、頼りにされ、信頼されるーこれが人間関係の基本だと思えます。ほっとの場合は特にそうです。

そして、今は、会員を拡大し、支援法に反対し、長期的にほっとを残すことに会員、職員が丸と

なることが求められています。政党などに期待せず(しかし川田龍平氏の活動には期待したいと思う)ともかく頑張りましょう、というのが現在の私の結論です。

### ●障害者自立支援法の今後

安兵衛

「障害者自立支援法」が施行されてはや一年半経った。あと三年半後には「障害者自立支援法」に基づいて移行しなければならない。移行しない施設は潰れる運命になっていく。新体系に移行しても施設運営が成り立つはずがない

のもわかりきっている。東京都内では新体系(障害者自立支援法)移行を前提にした議論が東京都精神障害者共同作業所連絡会内でも始められているという話だ。そもそも、(1)新体系に移行できるのか(2)移行したとしても維持できるのか(3)利用者の側の問題はクリアしているのかなどの分かり切った根本的な問題がある。

このような重要な問題が解決できていないのに移行することが前提だという議論はふざけている。



# 参議院選挙と自立支援法

(1)については以下の問題点がある。①新体系に移行するには利用者が一日平均二十名以上を確保できるのか。②利用者の通所交通費はクリアできるのか。③家賃補助金がなくなっても移行できるのか。

①「精神障害者」共同作業所で利用者一日平均20名以上を確保できるというのが可能だと思っているのが不思議だ。ただ黙々と奴隷のように働かせる工場でもやるのであれば別だが、個性豊かな「精神障害者」を20名以上まとめて作業したり、仕事に就いてもらうとなるとスタッフの数が相当数必要になる。しかし、法では数名のスタッフの人件費相当分の報酬単価しか収益がない。これじゃあ、運営できるはずもない。

②通所交通費の補助があるのか? これが保証されなければ、利用者は自分の個性に合致した作業所、授産施設に通えなくなり、行く場所がない。仕方なく近所の施設に無理やり合わせて通所しても、再発するのが怖い

ので、まず利用するのを止める仲間の方が多いだろう。

③家賃補助がなければ施設そのものが今まで通りの運営するのが不可能であろう。通いやすくて、地域の人も触れ合う機会が多い駅に近い場所から、人里離れた通いにくい地域の人の触れ合う機会も少なくなるような場所だと家賃も少しは安くなるだろうからと引っ越しても利用者からは交通費を自腹で払ってまでそんなに交通の便が悪い施設を利用するだろうか。そっぽを向かれるだろう。

(2)については緊急新体系移行支援補助(通所交通費の補助、減収分の補助、利用費の補助など)という予算の支えで移行できたとしても、その後補助がなくても(新規に立ち上げた施設はそもそもそういう補助さえない)これらの問題がクリアできるのか。これについては言うまでもなく、移行するまでの緊急措置が解除されれば(1)と同じことである。

(3)そして、最大の問題は利用者の側の問題だ。参議院選挙の結果、民主党主導で「障害者自立支援法」改正案を提出するつもりらしいが、利用者負担を凍結と言ってるから、いずれは凍結解除されて、支払う方向になるのかもしれない。問題外だ。結局、利用費、通所交通費、工賃、最低賃金法、雇用契約上のさまざまな問題は何も解決できていない。「精神障害者」にとって利用費は痛い。東京都下のある新体系移行施設の例をあげると一

日四〇〇円の工賃を稼ぐのに利用費を一日四六〇円支払わなければならない。持ち出しについては施設職員が利用者「社会復帰するための授業料だ」と納得させられているようだ。しかし、あまりにひどい持ち出しなので、週に一度はある企業に一日八〇〇円の日給で働かせてもらっているという。これにしても利用費名目で一日四六〇円施設に支払っているようだ。

しかも、この企業との間では請負契約だから、企業の従業員指揮命令権はないはずだが、請け負っている施設職員じゃなくその企業の従業員から直接指示を受けて働いている場合もあるそうだ。これは今問題の偽装請負ではないか。雇用契約は施設との間にあるはずで、請負契約の仕事が任されているのであれば、企業の従業員からの直接指示で働いてはならないはずである。こういうグッドウィルやコムスン張りの偽装請負で「精神障害者」を働かせてピンはねする施設がもう出没している。「障害者自立支援法」は「精神障害者」にとって、何の利益にもならない。上に述べたような悪徳施設は潰すに限る。

そもそも就労だけが社会参加だとは思わない。しかし、就労支援に限って言えば、「ほっと」スパー「ス八王子」は現在会員の複数がアルバイトなどの就労のプログラムを多摩一般労働組合と連携して進めている。一ヶ月にも満たないうちに、一人の仲間が雇い止めの不当解雇になった。労働組合として不当解雇撤回ということまで要求書を提出し、





# 参議院選挙と自立支援法

団体交渉に入った。経営のトップと対等に雇用について、労働条件について話し合う機会が「精神病者」の手に入るのだ。こういう現実の雇用関係の中で「精神病者」が鍛われ、就労への意欲が

自信が身に付いていくものと考えて現在も労働組合活動との連携力を入れている。街頭宣伝、不特定多数の人の前でマイク片手に演説をし、自分の意見を訴える、という当たり前の行為が

次第に「ほっとスペース八王子」の仲間の力を芽生えさせ、自信につながり、アルバイトなどの就労へと進んでいる。これをさらに進めれば労働組合運動と結びついて自分の生活を組合の仲間と協力し合って守り発展させる

という当たり前の在り方になりつつあるのではないかと思っている。全ての「精神病者」が可能な方向、方法ではないかもしれない。しかし、「障害者自立支援法」よりは現実性のある方向、

方法ではないかと思っている。

●参議院選挙と障害者自立支援法について  
仁木忍

今年の7月29日に参議院選挙が行われました。選挙の結果は民主党が大勝して、自民党は大敗になりました。民主党が選挙で大勝した理由は、年金の記録もれを早く見つけることが出来たのと、地域を含めた格差を是正してほしいという国民の声に答えられたからだと思いました。

それにひきかえ、自民党が大敗したのは、一番の理由が政治と金の問題につきます。松岡、赤木2人の前農林水産大臣がお金の記録をごまかして記載していたからです。そして、今年の9月8日に遠藤前農林水産大臣がまたその記載をしました。こういった政治の不祥事が国民の信頼を傷つけた理由のひとつだと思います。それから、年金の記録漏れについても国民にちゃんと説明しなかったのも大敗の原因です。しかし、私は民主党が選挙で大勝したおかげで、民主党、共産党、

社民党の野党が参議院の第一党になったので、とてもよかったです。

これで、障害者自立支援法も野党議員が修正案を国会に提出しているの、衆議院では野党が与党の数を上回っているので、可決します。そして、障害者自立支援法は皆様の力で撤廃できると信じています。これからは、自立支援法撤廃を目指し、国会での訴えを強めていきたいと思えます。これからも自立支援法撤廃運動にご協力をお願いします。

●参議院議員選挙で示された民意  
宮田陽子

◇自民敗退・民主躍進。民意は何を示した？  
今回の参議院選挙では、民主党が勝利し、東京都参議院選挙区では民主党公認の大河原雅子さんがトップ当選者となった。「子育て世代のお母さん、正規雇用につけない子供を持つ親や一人暮らしの高齢者、障害をもった方々、まじめに努力した人が報われる公正な社会を一日も早く実現しなければならぬ」という発言に私も賛同し一票を投じた。私と同年代で「明るくまじめで正直、好奇心が強く思い立ったら行動が早いしっかり者で気が強い反面、涙もろいロマンティスト」という性格も私とそっくりなので、この大河原雅子さんに期待したいと思えます。

◇民主が参院第一党、今後はどうなる！  
衆議院の議席が、自民党二九六議席、参議院の議席が民主党六十議席。いずれにしても自民党が与党として居座ることにはかわりがない。安倍首相が悪いわけではない。「年金」が響いたのでこういう結果になったと思えます。

◇障害者自立支援法撤廃を追及する！  
厚生労働省前抗議集会に参加したり、南多摩高校でピリマキをしていたり、国会に行ったり...「ほっとスペース八王子」の仲間はいろいろと活



# 参議院選挙と自立支援法

動しています。「精神病者」として頑張っています。今回の選挙も、自立支援法のことに触れた候補者に投票した人が多かったようです。

結局、戦争のできる国づくりを目指す安倍内閣総理大臣の下、これからも住みよい社会を作っていくと我々は逞しく生きて生きたいと思います。

## ●参議院選挙について思う

山口 咲子

7月29日に参院選があったが、私は始めて、期日前投票にいった。新聞で見たが、期日前投票に行った人が81万人もいるということだ。すごい人数だと思った。私は、「ほっと」で、選挙の勉強をして7月27日に期日前投票に行った。クリエイトホール5Fで、午後8時ごろだったか、かなり込み合っていた。前に勤めていた人から公明党に入れてくれと頼まれていたが、「ほっと」のお勧めの民主党に入れた。これを期に期日前投票もなかなか

いいなと思った。

## ●参議院選挙での決断

小林まゆ子

私は、参院選挙で、皆を裏切って入れたら、10日間謹慎となった。これからは自分の考えで選挙しようと思う。本当は3年謹慎といわれたが、すぐ上の兄さんが、ほっとスペースに来て一時間ぐらい話をしてくれた。命の恩人なんだと思う。不動産屋さんをやっていたので頭が抜群にいい。私は歌ぐらいしか良くわからない。これからほっとスペースにいたい。自立支援法の支援という意味がわからない。

(この原稿が照代さんの最後のメッセージとなりました。編集部)

## ●参議院選挙と障害者自立支援法

花房晴美

参議院選挙で今回、民主党が勝った。6月に日比谷野外音楽堂でデモ行進が行われ、生まれて初めて参加したが、びっくりしました。自民党を倒せ!といまの自民党の考えや安倍政権が悪いと考えられ、「障害者自立支援法」を作った今の政権に疑問を持ち、参加したデモだった。そして、民主党が勝ち、ほっとスペースで考えた考え方が採用されるかもしれない。これからもほっとの障害者自立支援法反対のヒラ撒きもあると思うのでできるだけ参加して行きたいと思う。

## ●参議院選挙結果について

武田青海

先ほど行われた参議院選挙では、野党の民主党が第1党になり、衆議院の第1党が自民でありねじれ現象となりました。民主党がここまで躍進したのは、小沢党首の力が大きいと思います。無論選挙前の自民党の年金問題や閣僚の自殺等のマイナスマスが民主党への追い風となった面も見逃せません。民主党をはじめとする野党は障害者自立支援法には反対しており、我々も野党に期待しており、近々予想される総選挙でもぜひ野党が第1党になってもらいたいというのが私の気持ちです。

## ●参議院選挙候補者にアンケートを求め

MIXE

私は今回の選挙に立候補した人たちに対して、私たちの現在おかれている立場を理解しているかどうかアンケートをとる役割を請け負って、できるだけの調査を試みました。ほっとの事務所へコピーを送ってもらったり、電話で直接事務所へ問い合わせたりしたのですが、候補者本人とは直接つながることができず、残念



選挙について討論する会員達



# 参議院選挙と自立支援法



支援法反対の候補を支援しました!

でした。それでも「J」で質問に答えてくれた方もいたので少しうれしかったです。ただ、応益負担について、障害者自立支援法のひどい内容について知らない方が多かったのが悲しかった。健常者にはわかってもらえないのかと思ってしまいます。幸いなことに他のメンバーが調査してくれた候補者の中に私たちがのことを気にかけてくれた人がいたので、私はその人に投票し、後日の投票結果で「当選」した旨を知って気分が少し晴れました。アンケート調査は面倒で苦労したけれど、いい経験になりました。また挑戦してみたいです。

## ●参議院選挙ー民主党が勝った

ディクシー

みんなで下調べをしようといっても私は特に調べたことはなかったのですが、みんな一生懸命調べて、その後勉強会をしました。みんな大体民主党という結論になり、全員で期日前投票に行きました。結果は自民党の敗北となり、良い結果だったと思います。また、選挙があったときは私もいろいろ調べてみんなと話し合ってみたいと思います。

## ●参議院選挙ー与党大敗は当然

渡辺広海

参議院選挙の期日前投票にほととの皆で行きました。場所は八王子のクリエイティブホールです。私は民主党の杉浦ひとみさんに入れたのですが、残念ながら当選しなかったため、非常に残念な気持ちです。社民党はほとととあっている政党なので多くの票を取って欲しかったのですが、ほとととと取れなくて本当に残念です。でも自民党が大敗したのは当然だと思います。安倍政権は一刻も早くなくなくなるべきです。ほととの皆の将来のためにも障害者自立支援法を撤廃させなければならぬと重いです。民主党がどこまで頑張ってくれるかわかりませんが、とにかく障害者の暮らしやすい日本になって欲しいです。

## ●自民惨敗

あーちゃん

7月、8月の月をまたいた形で今回の選挙の結果がでました。なぜ、自公政権が惨敗したのか、私は思う。政治資金のこと、天下り法人のことをほったらかしている。また国民のことなどを全く考えていないように思います。2に、イラクの問題や年金問題などは、野ざらしだと思えます。3に、私たちのような障害者のことなど、たとえば障害者自立支援法撤廃のことなどは安倍首相はどのように考えているのでしょうか。また、勝手に首相続行なども決めてしまうのも、おかしいことだと思えます。

## ●マイブーム今、はまっていること

ディクシー

私のMy Boomはキティちゃんです。リサイクルショップは、新品が安く手に入り穴場です。今特に集めているのは食器類です。コーヒーカーフ、湯飲みどんぶりからスープ皿まであり、食器棚をひとつ買い足しました。それからご当地キティです。それぞれの土地のものがあって答えるものもあり、かわいいものあり集めるだけで楽しいです。一番のお気に入りには東京タワーに登る「コジラキティ」です。

# My Boom- 今、私のはまっていること

●マイブーム 小さなさなぎの家  
あーちゃん

森の奥深くに、弱った小さなさなぎの家があります。その小さなさなぎのお家にはハムスター3人衆が住んでいますが。小さなさなぎの家に新しい友人が歩いて来ました。それはポトス君といひます。ポトス君は枯れることもなく2ヶ月も過ごしているうちに、2倍の大きさになりました。すくすく育つこの弱った小さなさなぎの家では、ハムスター3人衆もお家からはみ出んばかりに大きくなりました。しかし、夏の暑さで夏はてになってしまいました。そんなときに、ポトス君が風になよがれて葉っぱは同士でおしゃべりをしたりするとハムスター3人衆もほっとするのです。



●私のマイブーム

九嶋茉莉

私のマイブームはスポーツと、携

携帯電話に入っているゲームで、すっかりはまっています。スポーツは、体力づくりでやっているミニテニス、水泳、その他色々なスポーツをやっています。スポーツをしていると、運動不足にもならず、特に水泳は足のリハビリにもなって、楽です。後、携帯電話に入っているゲームにはまっています。一番に遊んでいるのはひつじ数えです。ひつじの数を数えていく間に狼を捕まえるゲームです。その間に捕まえないとゲームオーバーになってしまいます。本当に面白いゲームなので楽しいです。



●マイブーム

渡辺広海

パソコンが好きなので、インターネットにはまっています。いろいろな情報がマウスをクリックするだけで見ることができるので楽しいです。最近はお好きなものを安く買えるオークションもやっています。自宅にパソコンがあり先日接続の工事をしてもらったので、家でもインターネットを楽しんでいますし、ほっとでもよくパソコンを使わせてもらっています。インターネットは面白いです。

●私のマイブーム

MIKE

私はしばらく前から大阪の旬会に入会してお

り、毎月定期的に投稿しています。以前から俳句には興味が少しあったので、日頃の出来事で印象に残ったものや昔の思い出を句として提出しています。季節の移り変わりを敏感に感じ取る面白みもあり、動物や昆虫のしぐさ、天候の変化も句にすると楽しいものがあります。近頃ではケータイで俳句する若い世代が増えているそうです。五七五の文字の中に思ったことをまとめるのは難しいようですが、なれるとサクサク出来るようになります。日常生活の片手間にもすくすく作れるので、少しでも興味のある方がいたら挑戦してみてください。自分の可能性が広がると思います。

●夏キャンプに参加して

山口咲子

8月2日、3日と奥秩父にキャンプに行ってきました。台風の影響もなく無事に帰ってきました。夕食作りのバーベキューで、なかなか火がつかなかったけれど、野菜やお肉、焼きそばを美味しくいただきました。キャンプファイヤーでなかなか場所がわからなくて、H所長が行方不明となり皆が心配しましたが、少し立つとキャンプファイヤー場に現れたので皆ほっとしました。朝が早く大変でしたが、またこのような行事があったら参加したいと思います。



# 夏キャンプの思い出



缶ビール片手にハイポーズ。

## ●夏キャンプ体験

渡辺広海

8月2日から8月3日まで、夏キャンプがありました。私は今回総括責任者だったので、とても緊張していました。11時にJR八王子駅ホームの皆が集まり、八高線に乗りました。私は力メラ係をかねていたので、電車の中で写真を撮ったりしました。お昼は持参していたので途中の休憩所で食べました。サンドイッチとコロッケパンです。皆もそれぞれお昼をとっていました。次はタクシーに乗って野外活動センターへ行きました。お金は後で精算するとい

うことで、私がタクシー代を立て替えました。野外活動センターに無事到着し、チェックインを済ませて、それぞれのロッジに荷物の整理をしました。H所長が大音量でCDを流していたので、何度も苦情がきました。困ったものです。夕飯はバーベキューでした。みんなで協力してログハウスの外で火起こしをして野菜や肉や焼きそばを焼きました。とても美味しかったです。その後みんなで8号棟に集まってお酒を飲んだり、おつまみを食べたりしながら話をしました。いっぱい飲んで楽しみました。翌日は6時ごろ目がさめました。トイレに行くと、着替えて化粧をして、7時半ごろみんなで朝食を食べました。ハイキング方式だったので朝からもりもり食べてしまいました。その後、毛布のたたみ方とかを前日に教えてもらったので、直しのたたみをしてチェックアウトしました。帰りもまたタクシーでした。スケジュールが少し遅れ気味になったけれど、何とか間に合いました。途中から私はほっと車で帰ることになったので、皆と別れて八王子に向かいました。八王子のほっとの事務所について、荷物を片付けていたら他のメンバーはすでにJR八王子駅で解散したことがわかりました。そうすると、クーさんが「何でほっとの事務所で感想会をしないんだ」と大声をあげて怒りましたが、あとの祭りでした。とにかく無事にみんな帰ってこれたのでよかったです。来年もまたキャンプに参加したいと思います。

## ●夏キャンプ初体験記

今年初め

ディクシー

て参加しました。私はビデオ係になったのでちょっとドキドキ。うまく撮れるか心配だった。前日から買いたしに行ったりいろいろ用意したり忙しくしていた。当日、みんな集まっていざ、電車でGO! もう電車の中からビールを飲んだりして迷惑さまでした。ロッジに着いてからも酒盛りをしながらの焼肉と焼きそば。うまかった!。それからキャンプファイヤーだったけど、道に迷い、ほっとからの参加者に迷子(所長だ!)ができました。それでもフォークダンスや花火をしてとても楽しかった。ロッジに帰ってからM先生と飲みました。とりあえず次の日は時間に遅れることなくおきることがで、着ました。朝食後、部屋の片付けのチェックが入りました。大丈夫だと思ったら、やり直し…。こんなこともあるものさし直しながらブーブー。でもすごくいろいろなることがあってすごく楽しかったです。



ロッジの中も超快適。ご機嫌よ!

# 夏キャンプの思い出

## ●夏のキャンプ あーちゃん

夏のキャンプは、行きの電車の中から、帰りの電車の中までお酒を飲み三昧でした。もちろんキャンプ中も、お酒を飲んで所長と踊ったり皆と笑ったり、神妙な話をしたりなど、いろいろと楽しかったです。夜はキャンプ場でしか楽しめない、森のざわめきも一晩中聞いていました。素敵かったです。実のところ、夜の薬を飲み忘れて寝られなかった話ですが。(笑い)森のざわめきサイコーですよ。



スパで昨日の酒の酔いを洗い流しましたヨ

## ●俳句

MIKE

### MIKEの俳句コーナー

夏の風 プール帰りの 爽やかさ  
たこ焼に モロコと追加 夏祭り  
月白く 花火の宴 友集つ  
黄昏に 涼しげ染める 華の舞  
黄昏て 三毛は見上げる 鰯雲  
灯りは ハロウィンの夕 暖かし  
軒先に 匂を察して 秋深し  
一人夜と 焼芋カーの 夜半過ぎ

## ●個別推奨について

ほっとスペース八王子

都教委の通達文にあった、個別推奨手続きの文書を読んで、憤りと危機感を感じずにはいられません。この文書を引用すると、例えば、「育児」については3歳以上の子供の場合で、育児を手伝ってくれる家族等がおらず、本人が育児を行

なわなくてはならない場合、また、子に先天的、後天的な障害がある等、育児に特段の事情がある場合を想定している。とあります。これは障害を持つ子供を育てる事、産む事、障害者であること自体が悪であると思わせるような文章です。これでは障害者はいったいどうすればいいのでしょうか。障害を持つ事自体が悪ならば、私たち障害者は死ぬということでしょうか。

この件について、後程、現在私たちの通つ施設

を育児休業で休んでいる井田の原稿も読み上げます。井田の妻は障害者であり、産まれた子供は健常者が障害者かまだ分かりません。私自身は後天的な障害者ですが、たとえ障害があろうとなかろうと、全ての子供は平等に自由に平和に育てられるべきだと考えます。一夫妻がこんな都教委の通達文にあった個別推奨の例文一つで、これから先生活がどうなるのかわからないなど許す事は出来ません。

現在、八王子にある障害者の施設であるほっとスペース八王子では、障害児転落事故の裁判傍聴も行なっています。学校の教員が、障害者を体育館に閉じ込めて、脱出しようとした障害児が、転落して大怪我を負ったのです。これはその教師が障害児に対して適切な対応を取らなかった結果だと言えます。学校の教員が都教委、市教委の方に顔が向いてしまうと、障害児教育現場においても悲惨な現実に変貌する事を示しています。

私は現在、ある店舗でアルバイトをしています。ワークセンターから紹介していただいた仕事も多少こなしています。私は精神障害者です。障害者というだけで、今まで全く仕事が見つかりませんでした。最初は自分が精神障害者であることを隠していました。現時点においては、多摩一般労働組合に加盟し、「精神障害者」であることを力強くアピールしています。法を順守するようになり、申し入れ書を送りつけて働いています。障害者だからと言って、差別されるのは本当におかしいと

思います。少なくとも、政府は障害者に対して、  
 訳隔てなく最低限の生活を保証すべきです。

また、自民・公明党が作った法律、障害者自立  
 支援法も許す事は出来ません。私たち障害者に死  
 ねと言っているような酷い法律です。安倍政権は  
 一刻も早くこの法律を撤廃し、私たち障害者の負  
 担を減らすべきです。そして、日の丸・君が代強  
 制問題にも大いなる怒りを感じております。戦前  
 の日本の軍国主義を強調するような押し付けは大  
 きな問題があります。そして、君が代を歌わなかつ  
 た、君が代を歌う際、着席してい  
 たという理由だけで教員が解雇さ  
 れたり、訓告や減給処分、停職処  
 分を受けるのは本当におかしいと  
 思います。

とにかく私は、これらの仕組み  
 を許す事が出来ません。労働者の  
 一人として、個別推奨や障害者自  
 立支援法、日の丸・君が代強制問  
 題が撤廃されるよう、協力していきたいと思いま  
 す。(この原稿は、去る8月27日、都教委包囲ネッ  
 ト主催の都庁包囲アクション集会で、「ほっとス  
 ペース八王子」からの連帯の挨拶として発言され  
 たものです)

●終戦記念日に合わせて

武田青海

去る8月15日、中野セロにおいて終戦記念日の  
 集会が行われて、私たちほっとスペース八王子の

メンバーも参加しました。私は広島出身なので、  
 原爆についてはとても気になります。原爆がいかに  
 怖いものか、世界中の各国の指導者に知っても  
 らいたいと思います。広島に原爆が落とされた時  
 点で、日本の敗戦が確定したにもかかわらず、何  
 ゆえに長崎にも原爆が落とされたのでしょうか。  
 今、ミャンマーにおいて、軍事独裁の下で僧侶と  
 市民たちが民主化を求めてデモが行われています  
 が、多数の死傷者が出ています。早く民主化を求  
 めます。

## ほっと談話室 ～こんなこと・あんなこと～

●団地清掃に参加して

MIKE

私は今初めて団地清掃に参加させてもらいま  
 した。常連の人がほとんどなので、私は気楽でし  
 たが、作業の内容がわからないので、少し不安も  
 あって、始まるまでは何をやればいいのか……とい  
 う感じでした。作業が始まると集中してかかった  
 ので、草取りや掃き掃除もはかどったので、気持  
 × × × × × × × × × × ×

ちよかったです。ただ、しゃがんでの草取りは腰が痛  
 くなるので厭でした。他の作業所の人も大勢参加  
 しているので助け合いながら作業を進めていき、  
 ほぼ定刻11時30分には終了することができた。手  
 間がかかる作業も皆で協力してスムーズにできる  
 ことを改めて感じさせられた清掃でした。

●就労(アルバイト)体験記

渡辺広海

2か月前から八王子の吉野屋でアルバイトを始  
 めました。最初は精神障害者であることを  
 かくしていたのですが、ほっとスペース八  
 王子の多摩一般労働組合の勧めで、お店と  
 本社に障害者であることをカミングアウト  
 する内容の申入書を送ったら、障害者だか  
 らといって差別せず、そのまま働かせてく  
 れるようになりました。障害者でも働ける  
 んです。嬉しいですよ。時給も研修期間だっ  
 た8000円から9000円になりました。勝  
 ち取った気分です。とても嬉しいです。週に3日  
 ほどですが、6時間働いています。交通費は出ま  
 せんが、とにかく雇ってもらえただけでもありが  
 たいです。これからも頑張ります。

●設立十周年を過ぎて

「ほっとスペース八王子」の現状と課題

安兵衛

「ほっとスペース八王子」には久しぶりに新し

いタイプの仲間が入会して来た。二〇〇一年頃に「一丁産業でのリストアップで若い仲間たちがどっと入会してきたが、当時の「ほっとスペース八王子」では受け入れてもそれから先の展開が難しかった。

「ほっとスペース八王子」の雰囲気に触れることでそれまでの企業戦士という価値観以外の世界を見出して、それで視野が広がり職場復帰して行った。それはそれで良いのかも知れないが、「ほっとスペース八王子」の当事者運営の角度から言ってしまうとそういう仲間が現時点での「ほっとスペース八王子」の仲間を支援する仕組みにはなっていないかった。

現在の仲間は「ほっとスペース八王子」で価値観の広がりを知り、街頭宣伝でカミングアウトし度胸

を付け、自己主張をする術を次第に身に付けてアルバイトなどの就労に成功している。更に、「ほっとスペース八王子」の職員と就労した会員を中心にした労働組合が結成され、アルバイト先での人間関係などのトラブルに対しても、かつての「ほっとスペース八王子」以上の支援が可能な状況となっています。先日モアルバイトの本採用を勝ち取った。また、雇い止めに対しては解雇撤回の要求書を突きつけ、解雇予告手当で、通勤費の全額支給の回答が勝ち取られたが、あくまでも解雇撤

回職場復帰を要求して団体交渉を求めているところですが。

こうやって「障害者自立支援法」の言うところの就労支援とは違う考え方で労働者としての自覚を身に付けていく試みが成功しつつあるのかなと思っています。経営者と対等に自分の主張を突きつける、職場での自分と他人との距離をつかんだり、距離をつかみながら自己主張をどうしてい

## ほっと談話室

設立十周年を迎えての課題

障害者自立支援法について思う

くのかなどの実践的な体験を通じて就労を維持していくことを当該及び職員が共に学びつつあります。

また、「ほっとスペース八王子」に長い期間通っていた仲間も自立して生活していく力を育み、次第に「ほっとスペース八王子」に必ずしも通わなくても自分なりの居場所を確保している状況も見えてきています。「ほっとスペース八王子」はあくまで通過点。「ほっとスペース八王子」で育んだ力を更に他の空間でレベルアップないし幅を広

げて次のステップに移行する仲間も出てきています。

あと三年半で「ほっとスペース八王子」は「障害者自立支援法」の為に潰されるかもしれませんが、その時まで最大限活動出来得ることを行っていきたいと思えます。八王子市(黒須市長)は潰れる共同作業所、授産施設が八王子市だけで五〇余りあるのは了解していると公言(八月二十七日八王子障害者団体連絡協議会との交渉の場)し、口だけの福祉の街・八王子に呆れてしまいました。が、「ほっとスペース八王子」はあくまで「障害者自立支援法」撤廃を追求して今後も活動していきます。

●障害者自立支援法について

思いつく

ツッチー

僕は今まで十年近くにわたり、三つのティケアと一つの作業所を経験してきました。この四つの精神障害者福祉施設に共通していた事は、職員とメンバーが管理する側、管理される側としてはっきり溝があったことです。施設のことは職員がなにからなまでに決めます。もちろんメンバーにプログラムを作成させる様なプログラムもあることにはありますが、結局は職員の意思に左右されることが多いようです。そうしてメンバーがなにか失敗したり、問題を起こすと、休憩時間や活動の終了後に当事者を個別に呼び出し職員が問題を解決することが



多いようです。そういったテイケア又は作業所の運営の仕方は結局、メンバーの自主性や独立性を奪う行為の様に僕には感じられるのです。施設側がその職員の担当するメンバーの一生を責任もって管理し続けるというなら話は別です。我々精神障害者にとって一番大切なことは当たり前前を権利を当たり前前に主張できる能力を養うことではないでしょうか。ほっとスペース八王子は当事者運営をモットーとしています。怒りを感じたら怒る。不満を感じたら不満を言う。苦しいときには苦しい事を相手に伝える。皆、感情を素直に出せる雰囲気作りを大事にしています。それからなぜあなたは怒るのか、なぜあなたは不満を感じているのか、なぜあなたは苦しいのか。論理的に考えさせ、自分で問題に対処できる能力を養っていき、皆、人間としてのあるべき姿を日々悩み苦しみ傷つきながら模索しています。こう書くとは後ずさりしてしまつ方もいるかと思いますが、理想の自己実現の為に戦い程愉快で楽しく喜びに満ち溢れた行為はありません。現状のままでは自立支援法の施行は免れられないでしょう。しかしこの一連の撤廃行動は自分の



一生に益して余りあるものになると日々実感しています。人間として最も恥ずべき行為は容姿の美醜や能力の優越によってその人間の人間性まで否定することです。障害者が自分の障害を遅すことなく口にでき健常者といわれる人たちと互いの人格を認め合える社会の実現を願ってやみません。

## ◆小金井市自閉症児転落 事故損害賠償請求裁判、 大詰めへ。◆

### ●事件の概要

平成16年11月26日(金)午前9時35分頃、息子は2時間目の体育の授業のために他の児童と教師、介助員とともに体育館(校舎の2階)にいました。息子は、他の児童も行っているボール遊びのためのボールが入っている体育館脇の体育倉庫①に入りましたが何も持たずに外に出てきました。その後、すぐに倉庫①の隣の倉庫②に入りました。またすぐに出てきましたが、担任教師が「危険 なので倉庫に入ってはいけない」と口頭で注意しました。でも、息子にはその意味がわからなかつたのでしよう。倉庫①は普段でも入ってもいい場所、倉庫②はダメ。でも、両方とも鍵は掛かっていません。担任教師から叱られた息子は、

今度は倉庫③に入りました。(ここには、卓球台や一輪車が納められていました。担任教師は激怒しました。倉庫③に入っていた息子に対して、「そんなんに入っていたのなら、しばらくそこにいなさい」と言いつつ、扉を閉めました。担任教師によれば、その時息子は手を前に出して「アーアー」と言い、閉めないでという顔をしていたということです。どのくらい閉じ込めていたのでしょうか。再び担任教師が扉を開けたとき、息子の姿はなく、倉庫の窓が開いていました。自閉症児にとっては理解が難しい言葉による厳しい叱責と密室に一人にされた恐怖で混乱してしまった息子は、なんとかその場から逃げ出そうとしたのでしよう。地上から5メートルを超える倉庫の窓から落下して下顎と歯に大きな怪我を負ってしまいました。後日、学校の給食調理員や用務主事の目撃証言で、息子は体操着を血で染めて泣きながら校舎の裏を回り、昇降口から事務室に助けを求めたことがわかりました。

息子は、担任教師と養護教諭に伴われて救急病院にタクシーで向かい下顎を15針縫う処置を受けました。顎の骨にはヒビが入り、上下の歯も合計6本が割れ、治療には困難を極めました。診療台に座っても、嘔きだした血に事件を思い出したのか、泣き喚きながら診察室から待合室を走り回ったり、長時間の治療に耐えられないため全身麻酔までして治療を行ったこともありました。永久歯にまで被害が及んでおり、今でも経過観察中

す。

1ヶ月近くも流動食しか食べてはいけない息子の食事管理と飛び跳ねて顎をぶつけかねない息子の行動管理、通院と学校との交渉などで母親も心身共に疲れきってしまいました。当初、私たちは裁判どころか警察に被害届を出すこと自体考えていませんでした。担任教師も一度は頭を下げ、校長先生も誠実に原因の詳細を究明してくださると言ってくれたからです。でも、その思いはすくなく裏切られてしまいました。実は、息子が窓から落ちたということと自体、事件直後は明らかになっていなかったので、担任教師は、救急病院で息子は倉庫の中の2メートル

くらいの高さの台から落ちたと説明していましたが、学校もそれに合わせて調査をしていました。ところが、事件から10日後、担任教師が「当時窓が開いていて、下に落ちたかもしれない」と初めて打ち明けたのです。私たちは愕然としました。「真実を知りたい」「学校の作る報告書で真実を記載してもらいたい」という思いで、私たちは、校長先生と教育委員会に徹底的な原因究明と報告書の作成を求めました。でも、いくら私たちが疑問点をぶつけても、校長先生は、「怪我するところ

を誰も見ていない。本人が落ちたと言っていないから原因は特定できない」という言葉で終始し、「個人的には倉庫の中での転倒によるものと思う」と言い続けていました。

学校も、真相を説明すると言っていた教育委員会も信じられなくなりました。事件はきつとうやむやにされてしまう。私たちはどうしようもなくなって教育委員会から事件性がなければ動いてくれないと言われていた警察に相談しました。すると、事態は急展開しました。警察は相談したその

日に学校に捜査に入り、警察が捜査に入った2日後に担任教師が、それまで話していた倉庫内での転倒の裏づけとなるような証言をすべてひっくり返したのです。警察も捜査の結果、窓からの転落と断定してくれました。真実が判ったのです。

それでも、学校の報告書には、窓からの落下か、倉庫内での転倒かは判らないとされました。教育委員会が都に上げた報告書でも同じでした。特定できないのは、息子が自閉症で説明できないからだと書かれました。

## 小金井市自閉症児転落事故損害賠償請求裁判、最終局面へ

いくら抗議しても、警察が断定したとしても関係ない一蹴されました。事件後もそのまま学校に残る担任教師や、信頼関係が崩れ去った校長の下へ再び息子を預けることがどうしてもできず、

私たちは息子を養護学校に転校させざるを得ませんでした。心障学級を持つ学校の責任というものは、どのように考えられているのでしょうか？ 健常児とともに同じ校舎の中で生活する障害を持つ児童たちは、健常児と同じようにできないわけにはいかないのでしょうか？ 校内にある危険も自分で察知しなければ

の責任、事件の真実を明らかにしない学校と教育委員会の責任を明らかにするために、私たちは裁判を決意した。

「学校が守るべきものは何か」より転載させていただきました。(



裁判後の総括集会にて今後の方針を報告

ならないのでしょうか？ 自閉症という障害を持った息子を狭い倉庫に閉じ込め、大怪我をさせた担任教師

● 《裁判の経過》

(1) 平成18年11月1日、東京地方裁判所八王子支部に提訴。

★担任教師は監禁ともいえる倉庫への閉じ込め行為によって、原告に大怪我を負わせた上に、事故の経緯を明らかにせず、真実に反する説明を行った。

★校長と市の教育委員会は、担任教師に対する指導不足と体育倉庫に常時施設していなかったことなど安全配慮を欠いていたこと。さらに、事故原因の詳細を的確に調査・特定して被害者に 対して説明しないなど不誠実な対応をおこなった。

(2) 平成18年12月初旬、被告3者それぞれが答弁書を提出。

★被告小金井市、校長、担任教師とも「原告の請求をすべて棄却する」とした。

(3) 平成18年12月14日、第1回口頭弁論(原告両親よりの意見陳述)

(4) 平成19年2月15日、第2回口頭弁論(被告反論)

★被告側が第1準備書面で、原告の訴状に対する反論を行った。

①事故の具体的経緯は特定できない。※倉庫内での転倒か、窓からの落下かはわからない。

②事故後の対応は適切だった。※タクシーで搬送したこと、原因の調査や説明。

③学校側の安全体制に不備はない。※体育用具は必ずしも危険であるとは限らないので、体育倉庫の施設義務はない。

④閉じ込める意図はなかった。※言葉による指導は不適切ではない。

⑤教師の指導は適切だった。教師の専門知識の研究は行っていた。

⑥予見可能性はなかった。※本件以前にパニックで高所から飛び降りたことが事例があったか明らかにせよ。

自閉症児転落事故  
損害賠償請求裁判  
裁判の経過

(5) 平成19年3月29日、第3回口頭弁論(原告主張)

★原告側が第1準備書面を提出した。

①担任教師の行為は、監禁罪が成立するほど違法性が高い。

②原告が事件以前にも自傷行為を起こすなどのパニックや混乱を起こしたことはあり、連絡帳等で学校に報告していた。

③「入っていないさい」という言葉と倉庫に一人で残されたら、自閉症の子ともが「想像力」を働か

せることもできず、著しい恐怖を感じる状態に置かれることは、障害児学級を担任している教師であれば当然認識できたはずである。

④明らかになっている状況だけでも、窓からの落下と特定できたはずで、それをしないことからして事実を可能な限り究明する姿勢に欠けていた。

(6) 平成19年4月24日、原告側第2準備書面を提出

★監禁行為と怪我との因果関係の存在と予見可能性の存在についての主張の補足をを行い、且つ被告側に対して数点の求釈明を行った。

(7) 平成19年5月17日、第4回口頭弁論(被告反論)

★被告側が第2準備書面で、原告第1及び第2準備書面に対して反論を行った。

①3者とも、「原告は、その時、別の倉庫も含めて出入りを繰り返していたので、担任教師は「入っていないさい」と言って扉を閉め、「自ら出てくるものと期待」しつつ倉庫の扉を注視していたに過ぎない。したがって「入っていないさい」の発言は単なる「指導」に過ぎず、「懲戒」ではない。』と主張した。

②「担任教師は、『入っていないさい』という発言は、直ちに連れ出すことをあきらめた趣旨のことを伝え、教員が怒っていることを示すことと、自ら出てくることを待とうとする趣旨のものだ。』とまで主張した。

③担任教師は、『事件当時子どもがパニックになっていたと言ったのは、あくまで推測的意見だった。』など、当時の供述をすべて推測的意見として片付けようとした。

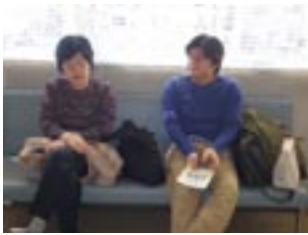
④また、『原告が入った後に倉庫Bは一度ドアが自然に閉まったのだから、もう一度開けて注意し閉めたとしても、外から見えない状態にしたという注意義務違反にはあたらない。』と無理な主張を展開した。

⑤さらに、『原告は、自ら危険行為に出ることが見られていなかったからこそ、特殊学級に入学したのであって、もし自ら危険行為に出ることが予見されたのであれば、その時の教員数での体制では監督不可能である。そうであれば、教員体制、学校設備そのものの問題で教員に責任はない。』と、自らの責任を学校の体制にすり替えた。

⑥一方、校長は、『担任教師のみの供述によるものは、客観的な裏付け証拠が存在しないものとして、事実とは判断しなかった。』と担任の供述を全く信用していなかったことを明かした。

(8)平成19年7月12日、第5回口頭弁論(原告主張)

①公立学校でも私立学校と同じく、児童と学校設置者との間に在学契約が存在し、その両親とも児童に学校教育



傍聴に参加する会員

を受けさせる在学契約が締結されている。したがって、公立学校に対しても債務不履行責任が存在する。

②債務不履行責任が認められても、国賠法の適用も合わせて認められる。

③国賠法1条と2条はそれぞれの要件がそろえば、両者とも成立する。

④国賠法上の義務違反としても、債務不履行責任と同様、担任教師に対する自閉症児教育に関する指導不足、体育倉庫への安全対策の不備、さらに顛末に関する報告義務違反などが判断されるべきである。

⑤仮に故意が認められない場合であっても、過失による監禁行為であると主張する。

次回裁判は証人尋問(被告及び原告(両親)が予定されており、大切なものです。多くの仲間の傍聴を呼びかけます。ぜひご参加ください。

平成19年11月29日

AM 10時~PM 17時

場所：東京地方裁判所八王子支部

〈編集後記〉

◇ほっとスペース八王子の会員として、永らく関わってくれた小林照代さんが不慮の事故(眠剤

服用中、食したパンを喉に詰まらせた)によって、去る8月21日未明、他界されました。深夜の出来事ゆえ、ご家族の方も気づくことができなかつた事故でした。本号の中で、生前、彼女と親しくしていた多くの仲間から追悼文が寄せられています。また若く、これからもまだまだ元気に活躍されることができたと思い、かえすがえすも残念でなりません。照代さんは、時々他の会員と摩擦を生じることもあったのですが、生来の天真爛漫さでほととの雰囲気をとんとなく和やかにする不思議な方でした。天国からほととの今後を暖かく見守ってください。

(編集部丁)

◇今、各地で「日本の青空」上映を進める会の運動が進んでいます。この映画は日本憲法がどのように作られたかを明らかにした映画です。先の参議院選挙の与党の惨敗と安倍首相の突然の辞任によって、「改憲は遠のいた」ように見えますが、油断は禁物です。これから9条を守る地道な運動が必要です。ぜひ、ほととニュースの読者諸兄も、身近なところで「日本の青空」の上映会があればぜひ参加して、この映画を見てください。なお、「ほっと」の会員が八王子の上映会に参加しましたが、その礼状が映画「日本の青空」上映をすすめる八王子の会(上映実行委員会)から届きました。この誌上をかりて報告させていただきます。

(編集部Y)